

事前質問

平成28年度 第3回 子ども・子育て会議に向けての質問書

酒田市法人保育園協議会
近藤 浩司

1. 「コミュニティしんぶん」平成29年2月17日号の記事内容について

質問)

- ①0～2歳児の保育需要が増える見込みがある一方で、公立保育所の統廃合を進めた結果、旧平田町エリアを中心に需要が供給を上回り、地域の保育所に希望通り入所できない事態が発生していると聞いています。
なぜ、統廃合を延期する等の措置をとることができなかったのでしょうか？
- ②私立幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行することにより、市内全域での0～2歳児の保育供給数は若干増えたものの、前述の需要の伸びを完全に吸収することができず、長澤園長の言われるような幼稚園独特の問題が生じているようですが、実際にはどのような状況にあるのでしょうか？
- ③『潜在保育士』の復職を促す施策について、具体的な見解をお聞きしたいです。

2. 酒田市内の学童保育所において、指導員による児童への虐待行為が発生したことについて

質問)

- ①酒田市として現在までに把握している、当該虐待事案についての事実経過について説明してください。
- ②指導員に研修を呼び掛けたとありますが、実際には指導員にはどのような研修機会が想定されるのか教えてください。
- ③今回の原因や遠因になるような要素、今後再発のないように市が考えている方策について、教えてください。

以上

平成28年度 第3回 子ども・子育て会議についての意見

酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会

会長 大滝 宗徳

保育士等人材確保事業について、詳細を聞きたいと思いました。

酒田市内の潜在保育士の情報や働きかけ、新卒の学生に対する合同説明会等、人材確保に困っている園は、協力して何かできないかと感じています。

先日のコミュニティ新聞にも記事が出ましたが、0～2才児の受け入れで待機児童が出ている現状は、保育士採用がうまくいってない部分もあるかと思えます。具体的に動きたいと思うので、行政、他園との連携を図りたいです。

以上